

今回は、小学部の学習の様子や高等部の現場実習の取り組みについて、紹介します。

小学部

☆ 6月22日(月)に西っこ検定に向けて伝達講習を受けました

6年生は、生活単元学習で「西っこ検定」の学習を始めるにあたって高等部の先輩にデモンストレーションをしてもらいました。先輩の説明を聞いたり「ゴミ集め」のやり方を見たりした後、自分たちも「ゴミ集め」に挑戦してアドバイスをもらいました。今年度より検定項目が自由に設定できる「チャレンジ」枠が設けられたことで個々に応じた目標に挑戦できるようになりました。これからも学習の成果を確認しながら技能の習得に励んでいきます。



高等部

☆ 1学期の現場実習・進路学習週間を終えて

6月1日から12日まで、高等部で現場実習・進路学習週間を実施しました。2年生は集団での体験実習、3年生は卒業後の利用を見据えた企業や事業所での前提実習に取り組みました。緊張しながらも、それぞれが実際の仕事や職場の雰囲気を体験し、自分の成果や課題を見つけることができました。

また、1年生は進路学習週間として、「働くこと」について学ぶとともに、校内実習に取り組む先輩の姿や事業所を見学し、働くことや卒業後の進路について理解を深めました。さらに、校内実習体験を通して、働くことを身近に感じる機会となりました。

今回の学びや気づきを今後の学校生活に生かし、一人一人が目標をもって取り組みながら、2学期の現場実習へつなげていってほしいと思います。

☆ 高等部2年生 職業ガイダンスを実施しました

7月1日(水)、高等部2年生を対象に職業ガイダンスを実施しました。講師として、ハローワーク岡山の相談援助部門 上席職業指導官 谷尻様、精神・発達障害者雇用サポーター 宇野様をお迎えし、「ハローワークについて」「卒業後の進路について」「就労に向けた準備」をテーマに講演いただきました。

講演では、卒業後の進路や就労継続支援 A 型・B 型事業所の違いについて学んだほか、企業や事業所は、得意・苦手だけでなく、働くための基本的な生活習慣や成長しようとする姿勢を大切に見ていることを教えていただきました。また、「働く力」は特別な才能ではなく、日々の生活習慣の積み重ねによって育まれることや、自分にできることを一つずつ意識して取り組むことの大切さを学びました。

